

秋のボランティア促進イベント



大学ボランティアの果たす役割とは

1 講話「ボランティアに今、何が求められているのか」

岩手大学教授・名古屋恒彦

2 岩手大学内ボランティア団体の活動紹介（予定）

天気輪の柱、もりもり☆岩手、赤十字奉仕団、ボランティアサークル ひよこ、
フェアトレードいわてほか



（イベントの内容）

東日本大震災から半年以上が経過し、被災地で求められるボランティア活動も多様化してきています。岩手大学では天気輪の柱やもりもり☆岩手などのボランティア団体により宮古や陸前高田の被災地支援に重点的に取り組んできましたが、がれきの撤去などハード面の活動から、これからは仮設住宅に住むお年寄りの心のケアなどソフト面の活動がより重要視されてくると予想されます。

一方、岩手大学には従来から各種のボランティア団体が存在し、昨年10月には関係4団体（朔風、赤十字奉仕団、ボランティアサークル ひよこ、フェアトレード いわて）によりボランティア団体協議会が結成され、ボランティア活動の活性化が期待されています。

被災地への支援を含め、地域社会に於いて大学の果たす役割はますます大きくなってきています。そうした中で、今大学のボランティアに何が求められているのか。地域との連携をどう図ればよいのかなどに関して。宮古YMCAと協力しながら被災地でのボランティア活動に取り組んできた名古屋恒彦先生にまず、話していただきます。

それから、岩手大学内のボランティア団体に活動内容の紹介をしてもらいながら、これからボランティア活動をしたいという学生も含めて、一緒にボランティアについて考えようと思います。

【日時】：2011年11月18日（金） 15:00～16:30

【場所】：岩手大学学生センターB棟多目的室

【主催】：大学教育総合センター学生支援部門・
岩手大学学生ボランティア団体協議会

【対象】：教職員・学生

【問合せ先】：岩手大学学生支援課(019-621-6749)